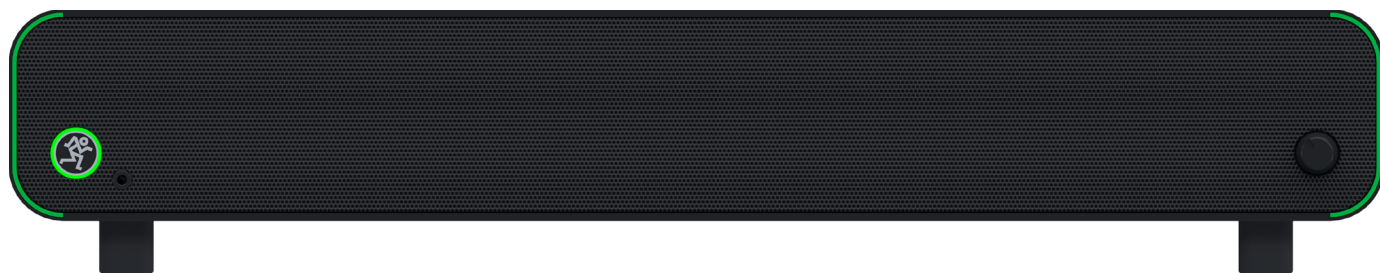


CR (STEALTHBAR)

DESKTOP PC SOUNDBAR w/ BLUETOOTH®

日本語オーナーズマニュアル





安全のために

この製品を設置、使用される前に必ずお読みください。

お使いになる方や周囲の方々への危害、財産への損害を防ぐため、下記の内容を守ってこの製品を安全にお使いください。
本書はいつでもご覧になれる場所に保存してください。

本書で使用する記号について

	<p>「必ず守ってください」という強制を表しています。</p>		<p>「絶対にしないでください」という禁止を表しています。</p>
---	---------------------------------	---	-----------------------------------



警告

この記号は取り扱いを誤ると死亡や重症、火災の原因になる可能性がある内容に付いています。



本書を全て読むこと

この製品を設置、使用する前に必ず本書を全てよく読み、本書の内容に従ってください。



水分をかけたり湿気にさらさないこと

この製品の上に花瓶や飲み物など、液体が入ったものを置かないでください。また、この製品を雨や霧にさらさないでください。感電や火災、故障の原因になります。



電源コードや接続ケーブルは安全に配置すること

電源コードをストーブの近くなど高温になる場所に設置しないでください。また踏んだり物に挟んだり、無理な配線を行うと、電源コードが損傷して火災の原因になる場合があります。また足など体の一部を引っ掛けるような場所に配置しないでください。負傷の原因になる場合があります。



本体を落下しないこと

本体の故障はもちろん、周囲の方が負傷する原因になります。



異臭や異常を感じたら修理を依頼すること

正常に機能しない、電源コードやプラグに異常がある等の場合は、修理をお申し付けください。



専用電源コードは仕様に適合した電源に接続すること

適合しない電源に接続すると、本体の故障、火災や感電の原因になる場合があります。



大音量で使用しないこと

この製品をアンプやスピーカーなど他の機器と組み合わせて、大音量を再生しないでください。一時的または恒常的な難聴や、スピーカーなど接続している機器が故障する原因になる場合があります。



確実に接地すること

適合しない電源に接続すると、本体の故障、火災や感電の原因になる場合があります。



移動するときはケーブルを全て抜くこと

電源コードや接続ケーブルを接続したまま本体を移動しないでください。ケーブルを痛めたり、周囲の方が転倒する原因になります。



本体内部に液体や物をいれないこと

火災や本体故障の原因になる場合があります。この場合は修理をご依頼ください。



改造を行わないこと

決して製品内部を開いたり、ユニットパネルを動かしたり、その他マニュアルに記載されていない調整を行わないでください。これらの行為は感電やその他災害に繋がる可能性があります。また、あなたの製品にも損害を与える可能性があります。製品内部を開くと、保証対象外となりますのでご注意ください。



電源コードを濡れた手でさわらないこと

感電の原因となる場合があります。



長時間使用しない時や落雷の危険があるときは電源プラグを抜くこと

火災や感電、故障の原因になる場合があります。



電源コードは必ずこの製品に付属のものを使うこと

適合しないものを使用すると通電中に電源コードが加熱し、火災の原因になる場合があります。



他の機器と接続するときはこの製品の電源を切っておくこと

接続時に大音量のノイズを発生し、聴覚異常やスピーカー破損の原因になる場合があります。



電源ソケットに手が届くよう設置すること

この製品の正面には電源を遮断する電源スイッチが付いています。この電源に簡単に手が届くよう設置してください。

**警告**

この記号は取り扱いを誤ると死亡や重症、火災の原因になる可能性がある内容に付いています。



禁止

本体の換気用開口部を塞がないこと

本体内部の温度上昇を防ぐため、この製品の表面には換気用開口部があります。この開口部を塞ぐと適切に換気ができず、内部の温度が上昇して故障や火災、誤作動の原因になる場合があります。



禁止

本体の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないこと

ガスが滞留して引火による火災などの原因になります。

**注意**

この記号は取り扱いを誤ると負傷、機器の損傷や物的損害の原因になる可能性がある内容に付いています。



必ず実行

本体は安定した場所に設置すること

本体を不安定な場所に設置すると、落下などによる故障の原因になります。



禁止

裸火を近づけたり熱源の近くに設置しないこと

この製品に直射日光を当てたり、ストーブなど熱源になるものの近くに置かないでください。本体が故障する原因になります。



禁止

ボタンやスイッチ、入出力端子に無理な力を加えないこと

本体の故障やお使いになる方が怪我をする原因になります。



禁止

テレビ、ラジオ、携帯電話の近くで使用しないこと

この製品またはテレビやラジオなどに雑音が入る場合があります。



必ず実行

スピーカーは定格範囲内で使用すること

定格範囲を超えるレベルや周波数を入力すると、スピーカーが故障する場合があります。特に歪にはご注意ください。



禁止

この製品に付属している電源コードをほかの電気用品に使用しないこと

この製品に付属している電源コードはこの製品専用のものです。ほかの電気用品には絶対に使用しないでください。



禁止

高温になる場所に設置しないこと

直射日光が当たる場所、熱を発するものの近くに置かないでください。製品の上にもうすぐなど裸火を置かないでください。

修理

- 日本仕様の Mackie 製品の修理は、音響特機株式会社または提携サービスセンターで行っています。Mackie 製品の修理やメンテナンスが必要な場合は、次の手順に従ってください。
- 本書でご紹介しているトラブルシューティングの内容を確認してください。
- テクニカルサポートに電話、もしくは support_mackie@otk.co.jp にメールをし、「メンテナンス申込書」を請求してください。「メンテナンス申込書」に必要事項をご記入の上、03-5534-6783 へ FAX もしくはメールにて送付してください。折り返し修理受付番号と送付先のサービスセンターが記載された修理受付表を FAX もしくはメールにて返送致します。修理受付番号はサービスセンターへ送付される前に必ず取得してください。
- オーナーズマニュアルと付属コードは同梱しないでください。修理には必要ありません。
- 本体を梱包材とともに製品パッケージに入れて、サービスセンターへ送付してください。当社では輸送上のダメージを保証することができません。
- 修理受付番号が記載された修理受付表のコピーを必ず同梱してください。また送り状の通信欄にも、修理受付番号と商品名、製造番号を記載してください。修理受付番号のない修理品は受付できません。

保証

- 本機の保証はご購入後 1 年間となっております。
- 正常な使用状態で本体に不具合が生じた場合、正規のサービス担当者が無償で修理を行います。ただし、下記の場合は保証規定から除外されておりますので、予めご了承ください。
 - お客様による輸送、移動中の落下、衝撃など、お客様のお取り扱いが適正ではなかったために故障が生じた場合
 - お客様のご使用上の誤り、不適正な改造、弊社の認可のない改造及び修理が行われている場合
 - 火災、煙害、ガス害、地震、落雷、風水害などの天変地異、あるいは異常電圧などの外部要因によって故障が生じた場合
 - 本機に接続している機器及び消耗品に起因する故障、損傷
 - 正常な状態でのご使用中でも、自然消耗、摩耗、劣化によって故障あるいは損傷が生じた場合
 - 日本国外でご使用中の故障、損害

すべてのサポート・修理に関する情報は下記 Mackie 日本語ホームページをご参照ください。
mackie-jp.com/support

修理受付（商品センター）

〒 136-0083 東京都江東区若洲 2-6-6 千住倉庫 1F B 棟
 株式会社日本システムサービス内
 ☎ 03-5534-6782
 📠 03-5534-6783

サポート問い合わせ先

✉ support_mackie@otk.co.jp

営業窓口

東京 東京都中央区日本橋小伝馬町 10-1
 ☎ 03-3639-7800（代表）
 📠 03-3639-7801

大阪 大阪府大阪市淀川区宮原 2-14-4 7F
 ☎ 06-6152-7751
 📠 06-6152-7752

名古屋 愛知県名古屋市東区泉 1-23-30
 ☎ 052-950-3324
 📠 052-950-3325

広島 広島県広島市中区富士見町 16-22-604
 ☎ 082-258-2916
 📠 082-2582917

福岡 福岡県福岡市中央区大名 1-4-1 ND ビル 5F
 ☎ 092-408-1775
 📠 092-408-1776

仙台 宮城県名取市杜せきのした 2-2-16-101
 ☎ 022-797-5281
 📠 022-797-5282

営業日 月曜日～金曜日 9:00～17:30
 休業日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季

ご質問は電子メールでも承ります。

✉ sales_mackie@otk.co.jp

Contents	
CR StealthBar の特徴	
はじめに	
このマニュアルの使い方	
クイックスタート	
その他の注意	
接続図	
フロントパネルの機能	
1. 電源スイッチ / ボリュームノブ / ミュートスイッチ	9
2. ヘッドホン（ステレオミニ）出力端子	9
3. Running Man Bluetooth スイッチ / LED	9
リアパネルの機能	
4. 電源コネクタ	10
5. USB I/O	10
6. ステレオミニ入力端子	11
7. ステレオミニ出力端子	11
高さ調節アダプター	11
サイドパネルの機能	
8. EQ プリセットスイッチ	11
9. 入力選択スイッチ	11
付録 A: サービスについて	12
付録 B: 技術情報	13
CR StealthBar の特徴	
5	モニターディスプレイの下に収まるコンパクトなデスクトップデザイン
6	Mackie プロフェッショナルエンジニアによる音響設計とチューニング
6	用途に合わせて選択可能な最適な 3 パターンのトーンプリセット
6	<ul style="list-style-type: none"> • Music（音楽鑑賞） • Voice（スピーチやラジオ） • Game（ゲームサウンド）
7	瞬時に音を消すことのできる Mute control
9	Mac や Windows などと接続可能な USB 端子
	ステレオミニ入出力端子
10	Bluetooth® ワイヤレスストリーミング
10	設置場所に合わせて高さを調整できるアダプターを同梱

はじめに

在宅勤務中にも高品位サウンドでBGMを楽しみたいですか？ご自宅のPCデスクにも高品位サウンドのスピーカーを設置したいですか？CR StealthBar はそんなあなたのために設計開発されました。

PC モニターディスプレイの下に設置可能な超コンパクトサウンドバーデザインを採用し、クリアで明瞭度の高い迫力あるサウンドを提供します。誰でも簡単に用途に合わせて最適なサウンドを楽しむことできるように、3つのEQプリセットも実装しています。

USB接続、Bluetooth®ワイヤレス接続、ヘッドホン出力端子装備のPCに対応できるステレオAUXアナログ接続と様々な音源に対応し、高音質なサウンドを楽しむことができます。

さらに高さ調節が可能な構造を採用し、ディスプレイの下に設置してもクリアで明瞭度の高いサウンドを楽しめます。煩わしいケーブルはCR StealthBarの下に配線して見えなくしてしまいましょう。

このマニュアルの使い方

この後に続くクイックスタートガイドでは、本機を設定するための手順が説明されています。接続図は典型的なCR StealthBarのセットアップを解説しています。



このアイコンは特に重要、あるいは独自の情報を示す際に使われています。よく読み覚えておくことをお勧めします。この手のひらアイコンにて示される領域には特に注意を払うことをお勧めします。



より詳細な情報の場合、顕微鏡のアイコンを使っています。また実用的なヒントの説明も含んでいます。



ノートアイコンの隣に表示されるテキストにも注意を払ってください。このアイコンは、CR StealthBarの使用に関連する特定の機能などを説明しています。

クイックスタート

手に入れたCR StealthBarを今すぐ使ってみたい！という気持ちはよくわかります。ただ、使い始める前に一度深呼吸し、どうかこちらのページをお読みください。

1. 電源を入れる前に、ボリュームが全て下がりきっている（反時計方向に回しきっている）ことを確認してください。
2. 付属の電源アダプターをCR StealthBarの電源端子にしっかりと差し込み、もう一方の端をACコンセントに差し込みます。
3. PCやスマートフォンなどのシグナルソースからラインレベルのモニター信号を接続します。入力端子はUSB-Cまたは1/8インチステレオミニフォン端子を使用してください。

または

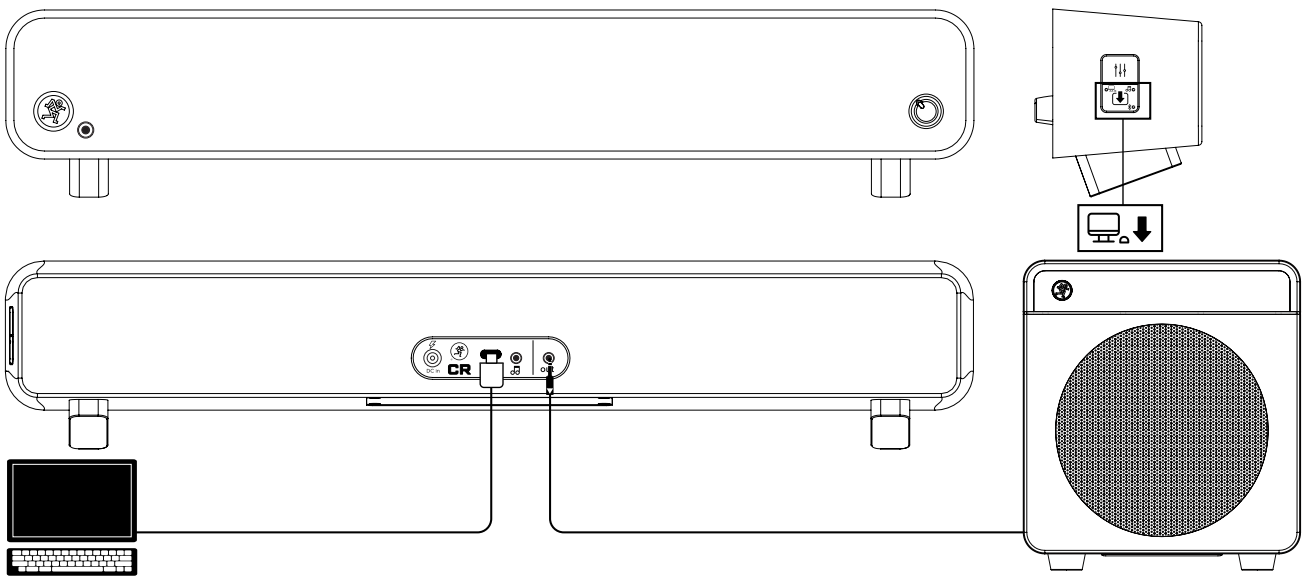
Bluetoothで機器を接続することも可能です（詳細はP.9~P.10をご参照ください）。

4. フロントパネルのボリュームコントロールを時計回りに回します。「カチッ」と音がしてロゴのRunning Manを囲むリングが点灯すれば正しく動作しています。
5. 入力切替スイッチで正しい音源ソースが選択されていることを確認してください（USB、1/8インチAUX、Bluetooth）。
6. オーディオファイルを再生し、ボリュームノブを快適なリスニングレベルまでゆっくりと上げてください。

詳細な使用方法については、本マニュアルのP.9以降に記載しておりますのでご参照ください。

その他の注意

- 長時間、大音量で音楽を聴くと難聴の原因となる恐れがあります。P.2の安全条項をよく読んでください。
- 梱包箱と同梱物は大切に保管してください。いつか必要になる時がくるかもしれません。梱包箱がペットの遊び場になってしまっても、怒らないであげてくださいね。
- 保証書は大切に保管してください。



この例では、コンピューターでゲームをする際の活用方法をご紹介します。本体の角度やポジションなどを確認し、最適な位置に設置してください。本体の角度については付属の高さ調節アダプターを使用して調節することができます（詳細は P.11 をご参照ください）。

付属の USB ケーブルを使用してゲーミング PC と CR StealthBar を接続します。Type-C 側を CR StealthBar の USB-C ポート、Type-A 側をゲーミング PC の USB ポートに接続してください。

次に入力切替スイッチが USB に設定されていることを確認します。また、EQ プリセットスイッチを押してゲームモードに設定しましょう。ゲーム開始まであと少しです！人気の擬人化されたウマが走るゲームのファンファーレも大迫力で再生しますよ。

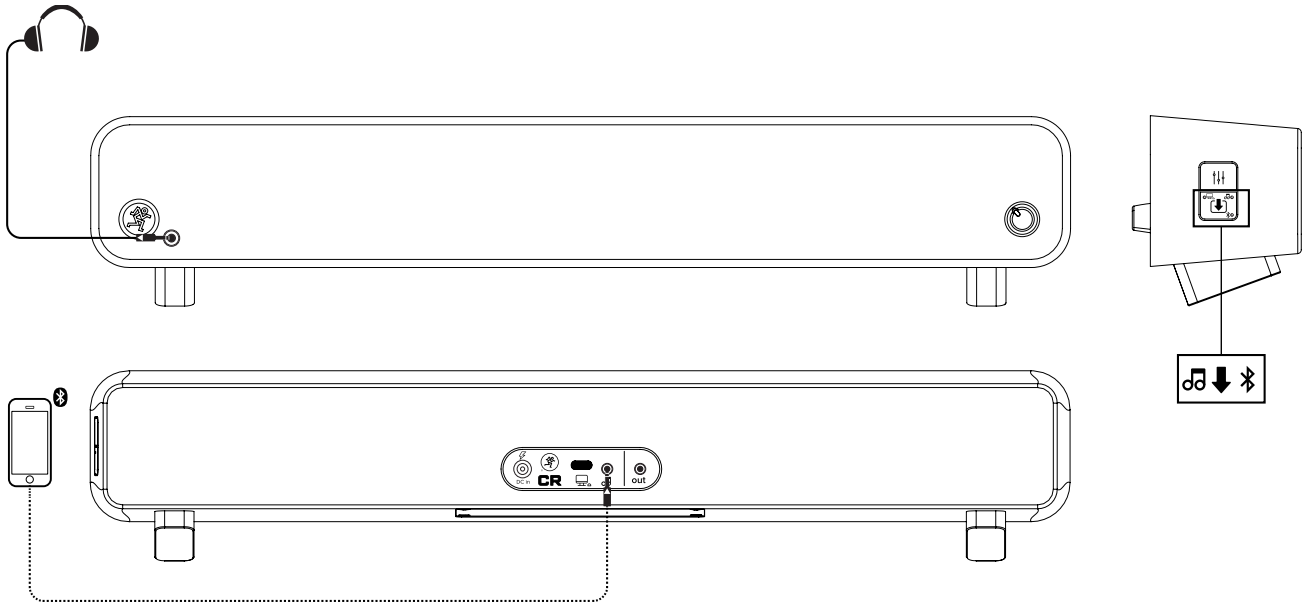
ゲーミング PC と CR StealthBar の音量が「0」以上になっていることを確認し、ゲーミング PC から音声を再生します。音が聞こえたら、CR StealthBar のボリュームノブで好みの音量に調節してください。

メモ：こちらのセットアップはお気に入りのドラマシリーズや名作映画を一気に観るときなどにもおすすめです。YouTube にどっぷりハマるときにもぜひお試しください。上図のように接続し、EQ モードをボイスにセットしましょう。

オプション 1: 上図のようにサブウーファー Mackie MRS10 や、または Mackie CR-X、CR-XBT シリーズの各モニターを接続することもできます。CR StealthBar のリアパネルの 1/8 インチステレオミニ出力端子から接続します。このようなセットアップでゲームや映画がどのようなサウンドになるのかを…ぜひお試しください。

オプション 2: フロントパネルのヘッドホン出力端子にヘッドホンと接続すると、スピーカーからの音声は自動でシャットダウンされます。フロントパネルのボリュームコントロールで、ヘッドホンの出力レベルを調節できます。

接続図



上図は音楽再生用に CR StealthBar を使用している例です。本機の代表的な使用例と言えるでしょう。本体の角度やポジションなどを確認し、最適な位置に設置してください。本体の角度については付属の高さ調節アダプターを使用して調節することができます（詳細は P.11 をご参照ください）。

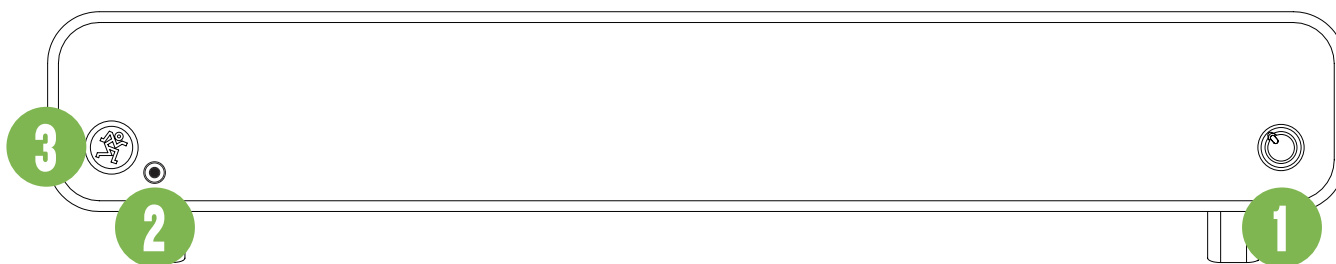
ここではスマートフォンを Bluetooth 経由で接続しています。もちろん有線接続も可能です。付属のステレオミニケーブルを使用し、リアパネルに♪マークが記載されている 1/8 インチステレオミニ入力端子につないでください。

次に入力選択スイッチを確認します。接続方法によって「Bluetooth」か「1/8 AUX」モードを選んでください。さらに EQ プリセットスイッチも最適なものを選択しましょう。この場合は「MUSIC」がおすすめです。

さあ音楽を再生です。まずスマートフォンと CR StealthBar のボリュームが「0」以上になっていることを確認してください。そのつぎにスマートフォンから音楽を再生してください。音が聞こえたら、CR StealthBar のボリュームノブで好みの音量に調節してください。

オプション：あなたがお気に入りの音楽を楽しんでいるときに、横から「うるさい」だとか「気に入らない」だとか言ってくる人がいるかもしれません。そんなにきつい口調で言わなくてもいいと思いませんか？平和的に解決しましょう。フロントパネルの Running Man のロゴマーク横にヘッドホン出力端子が搭載されています。こちらにヘッドホンを接続してください。スピーカーからの音声は自動でシャットダウンされます。フロントパネルのボリュームコントロールで、ヘッドホンの出力レベルを調節できます。

フロントパネルの機能



1. 電源スイッチ / ボリュームノブ / ミュートスイッチ

かゆいところに手が届く設計で有名な Mackie エンジニアリングチームですが、こちらのメインノブにも便利な機能が詰め込まれています。

まず電源スイッチとしての機能を紹介します。このノブを「カチッ」と音がするまで時計回りに回してください。これで電源が入ります。ただしすぐに音楽が大音量で再生されてしまうのを防ぐため、電源アダプターを接続する前に、このノブが反時計回りに回りきってオフの状態になっているかを必ず確認してください。

2つ目の機能は、全体の出力レベルの調節です。最も重要な機能です。CR StealthBar はラインレベルの信号入力を想定しています。このノブを回すことで、入力信号のレベルに応じて入力感度を調節することができます。レベル設定の方法については P.6 のクイックスタートをご参照ください。

3つ目の機能は、ミュートスイッチです。その名の通り信号をミュート（消音）します。このスイッチを押し込むと、ボリュームノブを完全に下げるのと同じ結果を得ることができます。ミュートボタンは一時的に信号のルーティングを変更することで音声出力をオフにしますので、ボリュームレベルを変更することなく音のみをオンオフできます。ミュートスイッチがオンの場合、フロントパネルの Running Man のロゴを囲むリングが赤く光ります。

2. ヘッドホン（ステレオミニ）出力端子

ヘッドホンへの出力を行う 1/8 インチステレオミニ端子です。音量は音量ノブでコントロールできます。またヘッドホンを接続するとスピーカーからの音声は自動でシャットダウンされます。

1/8 インチステレオミニ端子は AES（Audio Engineering Society）の規格に基づき、下記のように配線されています。

1/8 インチ TRS ステレオ配線

- スリーブ=シールドまたはグラウンド
- チップ=L チャンネル
- リング=R チャンネル



警告：ヘッドホンアンプはかなりの音量で再生されることがあるため、難聴の原因となる場合があります。中程度のレベルでも痛いほどの音量となる可能性があります。ご注意ください！ヘッドホンを装着する前に、必ずレベルコントロールを最小まで絞るようにしてください。ボリュームの調整はできる限りゆっくりと行うようにしてください。

ボリュームの調整はできる限りゆっくりと行うようにしてください。

3. Running Man Bluetooth スイッチ / LED

下記の手順で、フロントパネルにある Running Man のロゴを取り囲むリングが白く光ります。

1. CR StealthBar と電源アダプターを接続し、コンセントに接続する。
2. フロントパネルの電源スイッチを時計回りに「カチッ」と音がするまで回す。
3. 入力選択スイッチを「USB」または「1/8 インチ AUX」モードにセットする。

この Running Man のロゴマークがフロントパネルにあるのは、デザイン面もありますが、Bluetooth をコントロールできる機能も兼ねているからです。Bluetooth でお手持ちのデバイスを接続する方法について、これからご紹介しましょう。

CR StealthBar の電源を ON にすると、Bluetooth は下記のどちらかの状態になります。

1. スリープモード → 「初めてペアリングするデバイスの場合」をご参照ください。
2. ペアリング完了 → 「以前にペアリングしたことがあるデバイスの場合」をご参照ください。

初めてペアリングするデバイスの場合

CR StealthBar とスマートフォンなどのデバイスをペアリングして接続するには、2つの方法があります。

Bluetooth 接続方法 #1

(1) 入力切替スイッチを Bluetooth に変更します。ペアリングモードになると、ロゴマークの周囲のリングが点灯し、緑色に点滅します（ペアリングに成功し、接続されるまで LED は点滅し続けます）。

CR StealthBar がペアリングモードになっている間に、お使いのデバイスの設定から Bluetooth の項目を選択し、有効なデバイスを選択してください。CR StealthBar が「その他のデバイス」「利用可能なデバイス」のリストに表示されるはずですが、表示されたら CR StealthBar をタップして選択してください。お使いのデバイスの画面で接続済みのステータスになったらペアリング完了です。ペアリングが完了するとロゴマークのリングの LED が緑色点滅から緑色点灯に切り替わります。切り替わらない場合は、もう一度ペアリングをやり直してみてください。再度ペアリングを行う場合は CR StealthBar とお使いのデバイスが同時にペアリングモードになっていることを確認してください。

フロントパネルの機能

Bluetooth 接続方法 #2

(2) 実は Running Man のロゴマークは Bluetooth 起動ボタンも兼ねています！ロゴマークを押して離すと、ボタンの周りのリングは白色のままですが、ペアリングモードになっています。

CR StealthBar がペアリングモードになっている間に、お使いのデバイスの設定から Bluetooth の項目を選択し、有効なデバイスをスキャンしてください。CR StealthBar が「その他のデバイス」「利用可能なデバイス」のリストに表示されるはずですが、表示されたら CR StealthBar をタップして選択してください。お使いのデバイスの画面で接続済のステータスになったらペアリング完了です。このロゴマーク周りの LED は、本体側面にある入力選択スイッチを Bluetooth に変更するまで白色のままです。入力選択スイッチが Bluetooth になると、LED は緑色に切り替わります。

以前にペアリングしたことがあるデバイスの場合

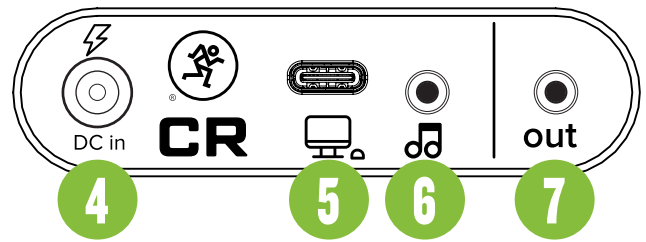
CR StealthBar とデバイスの距離が離れていたり、壁などの障害物に遮られていたり、CR StealthBar 本体の電源が切れたりすると、Bluetooth ペアリングは切断されます。以前ペアリングしたことのあるデバイスは、CR StealthBar の電源が起動し近くにある場合、自動的に認識されペアリングされます。ペアリング接続が成功すると、Running Man のロゴマーク LED が点灯します。

NOTE デバイスを CR StealthBar に接続した状態でフロントパネルのロゴマーク Bluetooth ボタンを素早く押すと、音声の一時停止 / 再生ができます（機器の一時停止 / 再生を押した場合と同じです）。

NOTE CR StealthBar とのペアリングを解除するには、ロゴマークの Bluetooth ボタンを 3 秒以上長押しするか、デバイスの Bluetooth の設定より解除を行ってください。

VERY IMPORTANT 静電気による放電や、電子レンジなどの電磁波を発生する機器などの起動、AC 電源を差し込んだり、機器の電源を切ったりするときに生じる電気アークの影響を受けると、Bluetooth 接続が切断される場合があります。このときは手で Bluetooth ペアリングを再度行ってください。

リアパネルの機能



4. 電源コネクター

CR StealthBar は 100VAC から 240VAC までのあらゆる AC 電圧に対応するユニバーサル外部電源を採用しています。電圧選択スイッチは必要ありません。世界中どこでも使用できます。なので私たちはこれを「プラネットアース」パワーサプライと呼んでいます！また従来の電源に比べ電圧の落ち込みやスパイクの影響を受けにくく、電磁波の絶縁や AC ラインノイズに対する保護にも優れています。

AC コネクター（プラグ）を電源アダプター（CR StealthBar に差し込むケーブルのついた大きな部品）に取り付けます。AC コネクターのツメを電源アダプターの開いている溝に合わせるようにして取り付けてください。

AC コネクターのツメは、11 時くらいに合わせるとよいでしょう。ここで押し下げ、時計回りに「カチッ」と音がするまで回転させて、所定の位置に収めます。一方向にしかはまらないので、無理にはめないようにしましょう。

電源アダプターを CR StealthBar のリアパネルにある電源ソケットに押し込み、もう一方の端を AC 電源に差し込んでください。これで電源へ接続できます。

VERY IMPORTANT 電源アダプターや AC コネクターは、本体に付属している専用品を使用してください。

5. USB I/O

CR StealthBar は「デスクトップ PC サウンドバー」としてデザインされていますので、自宅の PC から音楽や動画を再生するために本機をお使いになることが最も多いと思います。その際はこちらの USB インターフェースをご使用ください！

音楽やゲーム、映画、楽しい猫動画の鑑賞など、コンピューターからのあらゆる音を CR StealthBar から USB 経由で再生できます。

付属 USB ケーブルの USB Type-C 端子を CR StealthBar へ接続し、USB Type-A 端子をコンピューターの USB ポートへ差し込んでください。

接続先のコンピューターの音声出力設定を「CR StealthBar」に変更してください。

NOTE CR StealthBar の USB 接続は音声のみです。電源ソースとして使用することはできません。

リアパネルの機能

6. ステレオミニ入力端子

スマートフォンやMP3プレーヤー、またはその他シグナルソースからのラインレベル信号を入力するときは、こちらの入力端子をご使用ください。アンバランスステレオミニ入力端子です。

配線は以下のとおりです。これはAES(Audio Engineering Society)が定めたものです。

1/8 インチ TRS ステレオ配線

スリーブ=シールドまたはグラウンド
チップ=Lチャンネル
リング=Rチャンネル

7. ステレオミニ出力端子

こちらのステレオミニ出力端子は入力信号と全く同じものをそのまま出力します。パワードサブウーファーやパワードモニタースピーカーなどへ接続する際にご使用ください。

当然ながらおすすめのスブウーファーはMackie MRS10、そしてモニタースピーカーはCR-X、CR-XBTシリーズの各モニターということも書き添えておきます！本マニュアルのP.7に接続図を掲載していますのでご参照ください。またはMackie Webサイトをチェックしてください！

高さ調節アダプター

CR StealthBarの底面には取り外し可能なアダプターが装着されています。また本機には違う角度のアダプターがもう1セット同梱されています（角度は8°または15°）。ご自身の設置環境に適したアダプターを装着してください。

アダプターの取り外しおよび取り付け方法について説明します。まず電源を本体から外し、平らな場所に底面を上にして設置します。その際、ボリュームノブが右側になるように置いてください。

アダプターを手前に引くとひっかかりがとれ、手で持ち上げると本体から外れます。もう一方のアダプターも同じようにして外してください。



取り付けるときは、空いている穴とアダプターの突起を合わせて奥へと押し込みます。もう一方のアダプターも同じように固定してください。

サイドパネルの機能

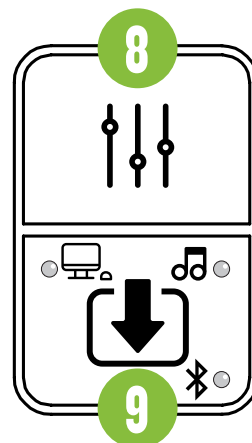
8. EQプリセットスイッチ

CR StealthBarには独自のEQモードがプリセットされており、このスイッチで切り替えることができます。

スイッチを繰り返し押すとEQプリセットが切り替わり、現在選択されているモードが音声でアナウンスされます。プリセットモードは以下のとおりです。

- **MUSIC EQ モード** - このモードでは、不要な低域を抑え、中高域をブーストする、アッパーベース・パラメトリック・スクープを搭載しています。
- **VOICE EQ モード** - このモードは、小音量でもクリアな音声、スピーチなどを再生したい場合に最適です。
- **GAME EQ モード** - このモードはフルレンジですが、迫力のある低音と明瞭度の高い高域を再生します。ゾンビから世界を救うために、ゲーマーが選びたいくなるセッティングです。
- **ア・ラ・モード (2022年時点非搭載)** - 前述のEQプリセットモードのどれかに、アイスクリームと生クリームをトッピングします。シェフのおすすめです。

NOTE 3つのEQモードのいずれも、高域のロールオフは18kHzです。



9. 入力選択スイッチ

入力選択スイッチです。USB、1/8" 入力、Bluetoothのいずれかをこちらのスイッチで選択してください。

スイッチを繰り返し押すと選択が切り替わり、選んでいる内容ごとにアイコン横のLEDが点灯します。

- **USB** P.10をご参照ください。
- **ステレオミニ入力端子** P.11をご参照ください。
- **Bluetooth** P.9~P.10をご参照ください。



すべての入力は同時に接続することができます。この入力選択スイッチで一度に選択できるのは1つの入力のみですが、ソースを切り替えても問題はありません。Bluetoothで接続された機器も含まれます。例えば入力選択を「Bluetooth」から「USB」、「ステレオミニ入力端子」に切り替えても、Bluetoothの接続が中断されることはありません。

付録 A: サービスについて

スピーカーに問題が発生した場合は、下記の「トラブルシューティング」を参照して問題点をご確認ください。弊社のウェブサイトのサポートセクションをご覧ください。下記の内容に沿って状況を確認しても問題が解決しない場合、または明らかに製品が故障している場合は、ただちに使用を中止してこの製品をお求めの販売代理店まで修理をご依頼ください。

トラブルシューティング

電源が入らない

- 電源アダプターがコンセントにしっかりと挿さっていることを確認してください。
- 私たちの大好きな質問です。電源アダプターは接続されていますか？コンセントが電力を供給しているかテスターなどで確認してください。
- 次にお気に入りの質問です。電源スイッチをオンにしましたか？そうでなければ、スイッチをオンにしてください。
- フロントパネルのボリュームノブを「カチッ」と音がするまで回しましたか？ボリュームノブを反時計回りに回しきっている状態だと、電源は入りません。
- フロントパネルにある Running Man のロゴマークを囲むリングの LED は点灯していますか？消えている場合、コンセントが電力を供給しているか確認してください。点灯している場合、下記の「音がでない」の項目をご確認ください。
- 内部の AC ラインヒューズが飛んでいませんか？これはユーザーご自身で対応できる症状ではありません。AC ラインヒューズに問題があることが疑わしい場合は、弊社までご連絡ください。

音が出ない

- 入力レベルを絞りにきっていませんか？システム内の全てのボリュームコントロールが適切に調節されているか確認してください。
- シグナルソースは正しく機能していますか？コンピューターやミキサー、MP3 プレーヤーまたは携帯電話（その他直接 CR StealthBar に接続されているデバイス）などから十分な信号レベルが供給されているか確かめてください。

音が良くない

- 音量が大きくて歪んでいますか？信号経路で過大入力となっている原因がないかを確認してください。システム内の全てのボリュームコントロールが適切に調節されているか確認してください。
- 入力端子は奥までジャックに挿し込まれていますか？全ての接続に問題がないことを確認してください。
- 入力コネクタが端子に最後までしっかり挿し込まれていますか？全ての接続に問題がないことを確認してください。
- 可能であれば、シグナルソースを一度 CR StealthBar から外し、プリアンプに接続してヘッドホンから音を聞いてみてください。これでもし音が悪いようでしたら、原因は CR StealthBar ではない箇所にあると考えられます。

- 低域の強さに違和感がありますか？まず最初に EQ モードの切り替えをお試しください。もし切り替えても問題が解決しない場合、ご自身で部屋の中を動き回り、低音のレスポンスが変わるかどうかに確認してみてください。部屋の構造とリスニングポジションによっては、低域が誇張もしくは無効化されてしまうといった状況が生じている可能性があります。その場合は CR StealthBar を別の位置に移動するか、リスニングポジションを移動してみてください。

ノイズ/ハム/バズ

- PC やミキサー、MP3 プレーヤー、スマートフォンなどと CR StealthBar をつなぐケーブルをチェックしましょう。接続がしっかりとされているか確かめてみてください。ここに問題があるとノイズやハム、バズが生じる原因になります。
- 信号ケーブルを電源コードや電源トランスなど電磁干渉を発生するものの近くに設置しないでください。
- スピーカーと同じ電源回路に、照明用のディマーやトライアックを採用している機器を接続していませんか？ AC 電源フィルターを使うか、スピーカーを別の AC 電源回路に接続してください。
- 過剰なヒスは、スピーカー前段でゲイン設定が正しく行われていないときに生じます。
- 可能であれば、シグナルソースを直接ヘッドホンで聞いて確認してみてください。こちらでノイズが生じているようでしたら、原因は CR StealthBar とは別の箇所にあることがわかります。
- 入力端子に接続したケーブルを抜いてください。これでノイズが消えた場合は、スピーカーに問題があるのではなく、グラウンドループによるノイズが発生しているのかもしれませんが。以下のトラブルシューティングを試してみてください。
- ノイズを最大限除去するため、システム全体をバランスで接続してください。
- 可能な場合は音響機器の電源コードを全てコモングラウンドを共有するコンセントに接続してください。コンセントとコモングラウンドの距離は可能な限り短くしてください。

Bluetooth

- Bluetooth に関する問題が起きた場合は、昔から行われている伝統的手法が効果的です。要するに一旦再起動・再接続をお試しください

ファームウェア

- ファームウェアを最新にすることにより不具合が解決する場合がございます。詳細下記 URL 参照ください。
<https://mackie-jp.com/enews/?cat=5>

ご不明な点は・・・

- mackie-jp.com にアクセスしてサポートの項目を確認してください。
- support_mackie@otk.co.jp までメールをお送りください。

付録 B：技術情報

CR StealthBar 仕様

音響特性

周波数特性 (-10 dB)	67 Hz - 20 kHz
水平放射角	45°
垂直放射角	90°
最大 SPL ピーク	100 dB
ダイナミックレンジ	>105 dB
SN 比	<-85 dB
モニター角度	8° / 15°

トランスデューサー

高域ドライバー	2.5 in / 64 mm フルレンジ × 2 パッシブブラジエーター × 2
---------	---


アンプ

システム定格出力	50W Peak
動作方式	クラス D

入力 / 出力

入力タイプ	ステレオミニフォン / USB-C / Bluetooth
出力タイプ	ヘッドホン用ステレオミニフォン / ステレオミニフォン

Bluetooth

Bluetooth プロトコル	5.0
Bluetooth 機能	オーディオストリーミング
電波法 工事設計認証番号	 R018-220150

ビットレート / サンプルレート

ビットレート	16 / 24 ビット
サンプルレート	44.1 / 48 / 88.2 / 96 kHz

電源

着脱可能電源コード	100 - 240 V @ 0.8A, 50 - 60 Hz 12V @ 3.0A
-----------	--

物理仕様

基本設計	長方形
ディスプレイ LED	電源リング (Running Man ロゴ周り)
動作温度	0 ~ 40°C

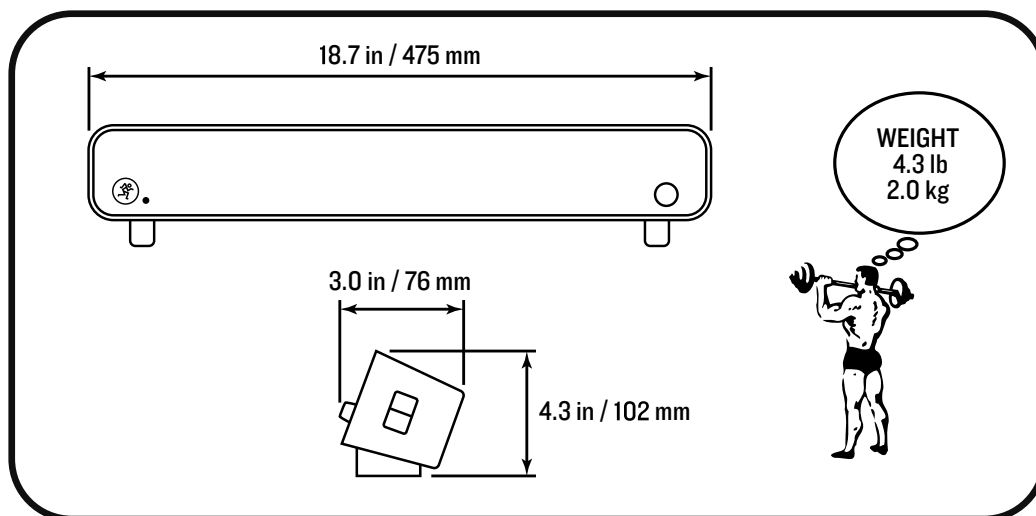
寸法・重量

高さ	102 mm
横幅	475 mm
奥行き	76 mm
重量	2.0 kg

LOUD Audio 社は、常に新しい素材、部品、製造方法を取り入れて製品を改善するよう努めているため、製品の外観及び仕様は予告なく変更することがあります。

「ランニングマン」、「Running man」は LOUD Audio 社の登録商標です。他の商品名または会社名は各社の商標または登録商標です。

CR StealthBar - 寸法図



CR StealthBar - 振幅特性

MUSIC EQ モード - このモードでは、不要な低域を抑え、中高域をブーストする、アッパーベース・パラメトリック・スクープを搭載しています。

VOICE EQ モード - このモードは、小音量でもクリアな音声、スピーチなどを再生したい場合に最適です。

GAME EQ モード - このモードはフルレンジですが、迫力のある低音と明瞭度の高い高域を再生します。ゾンビから世界を救うために、ゲーマーが選びたいくなるセッティングです。

CR StealthBar - 振幅特性グラフ

